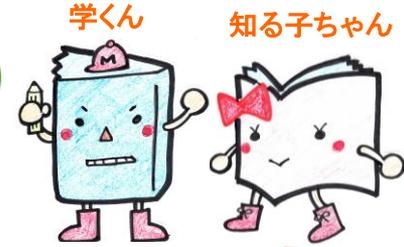


D V D ・ 新 刊 の ご 案 内

メディカル情報サロンに新しい本とDVDが入りました。
他にも病気やからだについて書かれた本やパンフレット、がんに関するDVDなどをご覧いただくことができます。
待ち時間などにぜひご利用ください。



DVD
福井県済生会病院 市民公開講座
『つらさを和らげてあなたらしく生きる』
～あなたや家族を支える緩和ケア～

2014年3月15日、当院にて緩和ケアをテーマとする市民公開講座が開催されました。

患者さんの苦痛を和らげることを目的とする緩和ケアについて、専門スタッフが講演。さらに特別ゲストを迎え『看病する側、される側』というテーマで特別鼎談を行い、笑いを交えながら、がんとの向き合い方、家族のサポートについてお話いただきました。



『認知症知って安心！
症状別対応ガイド』



数井裕光/杉山博通/坂東潮子 著

本書は、認知症の治療とケアのための基礎知識に加え、さまざまな認知症症状とその対応法をわかりやすくガイドしています。たくさんの方の不安を抱えていらっしゃる認知症の診断されたご本人、そのご家族、また周囲の皆さんへ、ぜひ読んでいただきたい1冊です。

『第3章 症状別・疾患別の対応法』

- 物忘れ
 - 見当識障害
 - 服薬の管理
 - 意欲低下
 - 食事に関する障害
 - 着替えの障害・歯磨きの障害
- …など

『がんで不安なあなたへ
心のケアの道しるべ』



岡村 仁 著

「がん」という病気は、診断される以前、検査の段階から人を不安にさせます。心の問題は、がんを疑った時から始まり、診断されてからの長い経過の中でも生じてきます。患者さんやご家族がどのような場面で、あるいはどのようなことに対して不安になったり悩んだりされるのかを私なりに考え、いつ心の専門家を訪ねていただきたいか、そこではどのような対応がおこなわれているかを解説しました。
～著者の言葉より～

がんに関連した心の問題はがんと診断されてから始まるわけではなく、診断される前から始まっていると言われています。すなわち「がんを疑ったとき」から心に変化が起こってきます。そのときに生じてくる心の変化で最も多いのが「不安」ではないでしょうか。(本文より)